

ほけんニュース

行田こども園
電話 048-557-2943

プール遊びのために大切な 健康チェック

子どもたちはプール遊びが大好きです。楽しく遊ぶためには、体調をととのえることが大切です。検温をして、しっかり朝食を食べて、排便を済ますなど、ご家庭での朝の健康チェックをよろしくお願いします。



プール当日の健康チェック

- 十分な睡眠がとれていますか？
- せきや鼻水は出ていませんか？
- 発熱はありませんか？
- 皮膚に発疹ほっしんなどはありませんか？
- 朝食は食べましたか？
- 目が赤くなっていたり、目やにが出たりしていませんか？
- 排便は済ませましたか？
- 爪は短く切ってありますか？
- 下痢や腹痛はありませんか？

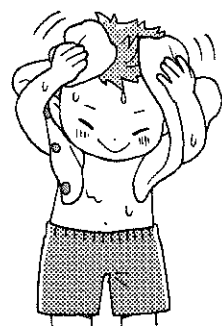
プールでの感染症対策

基本的な感染症対策を徹底して行い、感染予防に努めています。

プールの前後は、顔や体に、シャワーをかけます。



必ず自分のタオルを使い、友だちのものは使いません。



手洗い、うがいを徹底します。



プールで注意したい感染症

プールで感染する恐れのある感染症を知っておきましょう。



咽頭結膜熱(プール熱)

おもな症状

39℃～40℃台の発熱が4～5日続き、のどの痛みが強く、結膜の充血、目やにが見られます。

注意点

おもな感染経路は、飛沫感染及び接触感染です。対策としては、石けんを使ったいねいな手洗い、うがい、プール前後のシャワーなどが大切です。感染力が強いため、タオルなどの共用は厳禁です。症状が落ちついてから2日以上たてば登園可能です。

流行性角結膜炎(はやり目)

おもな症状

流涙、目の充血、目やにが見られます。幼児の場合、目に膜が張ることもあります。また、発熱を伴うこともあります。

注意点

おもな感染経路は、飛沫感染及び接触感染です。塩素消毒の不十分なプールの水、タオルなどを介して感染することもあります。タオルなどの目に触れるものの貸し借りはやめましょう。主治医により伝染の恐れがないと認められるまで登園は停止です。

伝染性軟属腫(水いぼ)

おもな症状

1～5 mm程度の小さいぶつぶつが、両手両足や体幹に数個から数十個集まってできます。軽度のかゆみがあります。

注意点

おもな感染経路は、皮膚と皮膚の直接接触による接触感染です。プールの水では感染しないので入れますが、タオル、浮き輪、ビート板などを介して感染する場合があります。皮膚の清潔を保つことや、保湿をすることも大切です。

伝染性膿痂疹(とびひ)

おもな症状

水疱やびらん、かさぶたが、鼻の周囲、体幹、両手両足などの全身に見られます。患部を引っかくと、新たに病変が生じます。

注意点

おもな感染経路は接触感染です。患部を引っかいたり、かきむしったりすることで、湿疹や虫さされなどの小さな傷を介して感染します。皮膚を清潔に保つことが大切です。爪は短く切ります。プールは、治癒するまでやめておきましょう。

そのほかの感染症とおもな症状

手足口病

口腔粘膜と手足の末端に水疱性発疹ができます。また、発熱とどの痛みを伴う水疱が口腔内にできます。

ヘルパンギーナ

39℃～40℃台の発熱が2～3日続き、咽頭痛や、咽頭に赤い粘膜疹や水疱が見られ、水疱が潰れて潰瘍をつくることもあります。

アタマジラミ

頭髪にアタマジラミ(2～4 mmで少し透けた灰色)の成虫が吸血し、卵を産みつけます。頭皮にかゆみが出てきます。

参考文献 厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)」/監修 鹿児島県鹿屋市 まつだこどもクリニック 院長 松田幸久先生